

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月 19日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県栃木市片柳町2-14-39
氏 名 舘野建設株式会社
代表取締役 横田雄作
電話番号 0282-22-6981

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	舘野建設株式会社
事業場の所在地	栃木県栃木市片柳町2-14-39
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完工高 40億円/年
③ 従業員数	75人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙 2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	排出量	別紙3のとおり t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	排出量	別紙3のとおり t
	(今後実施する予定の取組)	
別紙4のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	別紙4のとおり	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	別紙4のとおり	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 各現場において、分別委託を推進。 t		

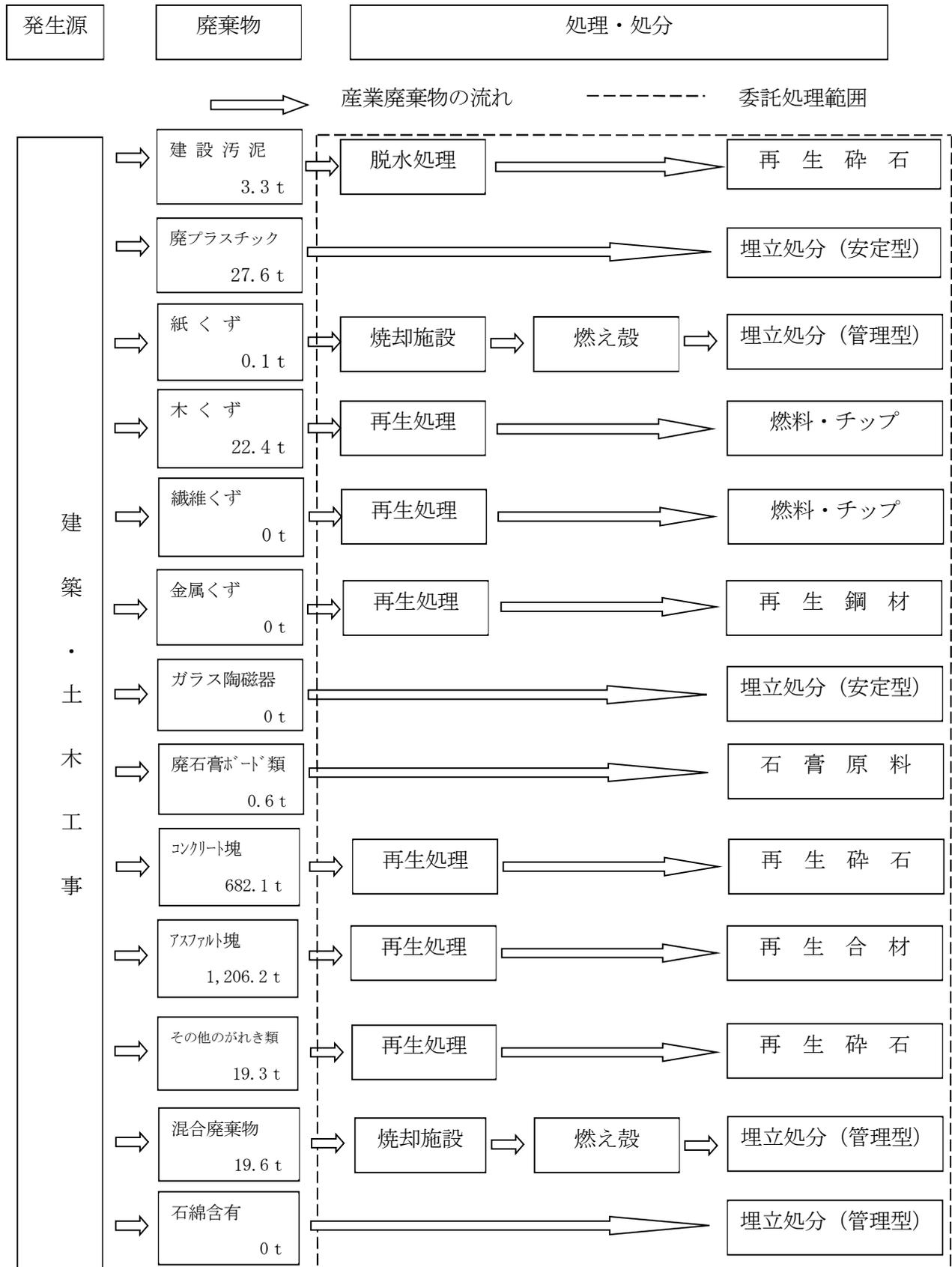
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	t
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 各現場ごとに、分別委託を推進		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

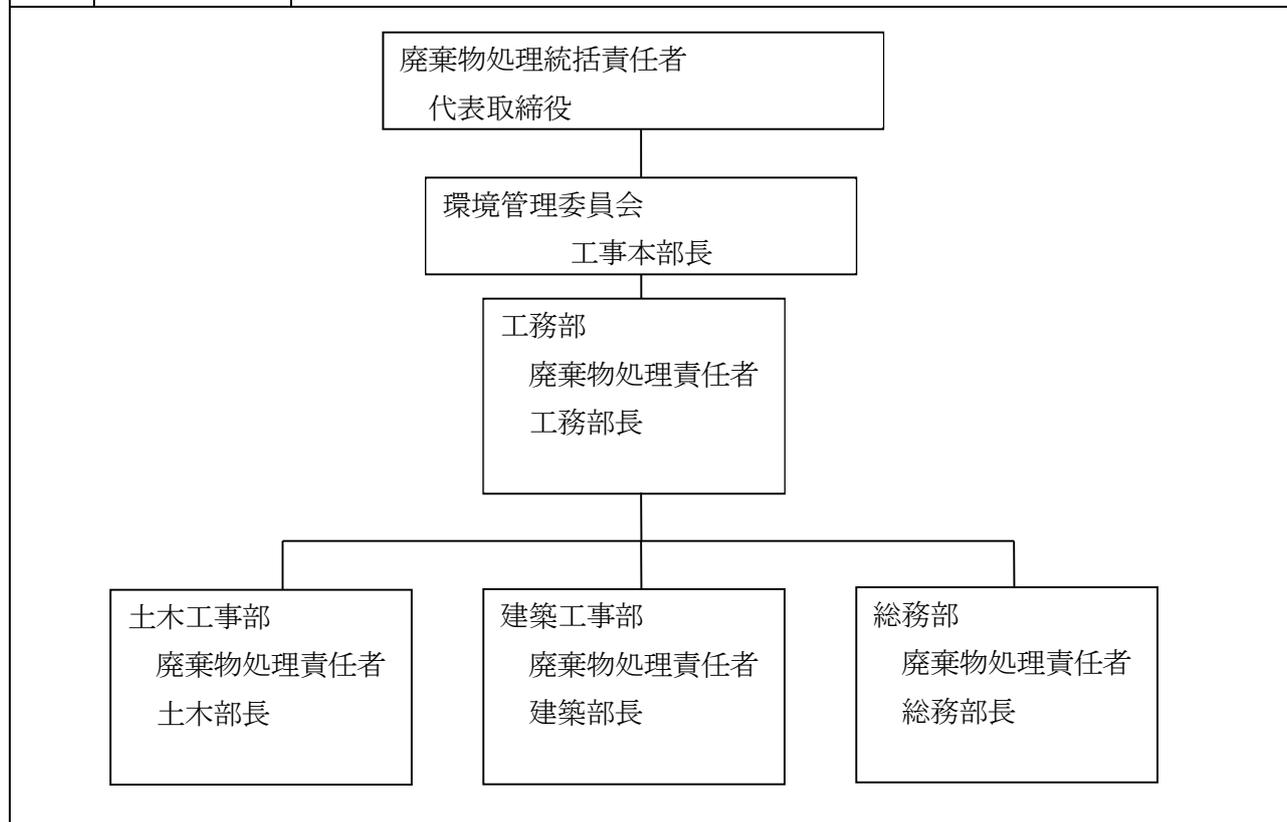
〈廃棄物フロー図〉



〈産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項〉

管理体制図

統括責任者	所属	館野建設株式会社	職・氏名	代表取締役
廃棄物担当	組織名	工務部	職・氏名	部長
	組織人数	3人		
役割	環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、改革的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 委員長－代表取締役 ・ 委員－関連部署部長 ・ 事務局－工事部環境管理課 		
	廃棄物管理担当部・課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 廃棄物管理規定の策定・改善 ○ 廃棄物処理に関する各種次項の決定、承認 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理の把握と改善策の検討 ○ 委託契約の締結 ○ 社員、協力業者に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項 		



別紙 4

〈産業廃棄物の排出の抑制に関する事項〉

		これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥		仮置きによる水分量の減少化・再利用。	同左
紙くず		無駄をなくす。	同左
木くず		木材の再利用率の強化。	木材の最利用率を計る。
がれき類	コンクリート	—	資材管理の徹底により減量化を計る。
	アスファルト	—	資材管理の徹底により減量化を計る。
	混合廃棄物	廃棄物の分別化を推進実行する。	廃棄物の分別化を推進実行する。

〈産業廃棄物の分別に関する事項〉

		これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
がれき類	混合廃棄物	分別作業により減量化を計る	分別作業により減量化を計る
		—	—
		—	—
		—	—

〈自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項〉

		これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
がれき類	コンクリート	再生材の利用を多くする。	再生材の利用を多くする。
	アスファルト	再生材の利用を多くする。	再生材の利用を多くする。
	—	—	—